

第3学年 総合カリキュラム 学年総合学習の記録 ～“Society” 今 私たちにできること～

渡 辺 松 一・木 村 真 冬・松 本 純 一・栗 原 恵美子

1 “Society” 今私たちにできること（3年前半）

(1) 総合学習のねらい

3年前半の総合学習では、2年の総合学習グループの活動を継続し、その活動をまとめて学年全体で共有化する学年発表会を実施した。

この総合学習では、「社会のために、今自分たちができることを考え、行動する」という目標が掲げられている。2年生の小グループの活動では、できるだけ、単なる資料調べではなく実際に活動している方にお話を伺うこと、ボランティア的な活動や社会へ発信する活動を積極的に行うこと、ということをやびかけてきた。春休みを利用して、見学や街頭アンケート、募金活動、ポスター作成など、さまざまな取り組みが行われた。だが、小グループごとの進行状況や内容の深まりには差が大きい。そこで、どのグループの生徒にも、何らかの形で社会と関わることを経験させること、学年発表会を通して互いの成果に学ばせることをめざすこととした。

今回の学年発表会は、社会の問題をなげかけ、他の生徒たちの意識を高めるという点で、社会への参加の一つだともいえる。それには、単に「わかったこと、活動したことの報告」ではなく、社会の課題を理解し考えてもらうための発表でなくてはならない。どのような発表方法が効果的であるか、目的にそった発表の技能を身につけさせることもねらいであった。

また、最終学年でもあり、全体の企画・進行は、できるだけ総合学習係を中心にすすめることとした。総合学習係は、前年度のメンバーに新たな希望者を加え、毎回活発な議論が行われた。

(2) 学年発表会

学年発表会は、6月14日（火）5限「環境」グループ、6限「健康」グループ、6月28日（火）5限「平和」グループ、6限「福祉」グループに実施することとした。グループによって準備期間に差ができてしまうが、適度に集中した時期に実施したいと考えたのである。

総合学習係の話し合いの結果、ただ感想やまとめのプリントをかくだけ、に終わらないよう、聞き手側が積極的に話をきき、話し手側のメッセージがきちんと伝わるよう工夫することにした。そのため、まず、各小グループの長を集め、自分たちのグループで伝えたいこと、さらに、「環境」ならば「環境」グループ全体で訴えたいことは何か、明確にしてもらった。

そして、発表をきくことで答えがわかる、各小グループのクイズや、全体メッセージの穴埋め問題をつくって、プリントに記入できるようにした。

各小グループは、学年発表会をめざして活動をすすめ、模造紙、OHP、パワーポイントなどを活用した効果的な発表を行うことができた。その中でも、いくつかのグループは、自分たちの意見を強く打ち出したり、具体的な活動へのよびかけを行うなど、印象的な内容となった。猛暑の中の学年発表会であったが、聞き手側も興味を持って熱心にきくことができた。



発表準備



学年発表

6/14 (火) 5限 環境グループのテーマと取り組み概略

- 1班 「ゴミのリサイクル (ペットボトル)」 小川研究室, チクマ社インタビュー調査
- 2班 「BSE食品の安全性」 池袋肉専門店インタビュー調査
- 3班 「ゴミとカラス」 豊島清掃工場見学調査
- 4班 「ハト公害」 小石川図書館調べ学習, 啓蒙ポスター作り
- 5班 「動物愛護」 ペットショップ, 代々木公園にてインタビュー調査

6/14 (火) 6限 健康グループのテーマと取り組み概略

- 1班 「遺伝子・プロジェリア」 ネットで調査
- 2班 「HIV」 人権センターインタビュー調査
- 3班 「麻薬」 東京ダルクインタビュー調査
- 4班 「遺伝子」 お茶大研究室インタビュー調査
- 5班 「麻薬」 新宿警察インタビュー調査

6/28 (火) 5限 平和グループの取り組みと概略

- 1班 「理想の平和・イラク戦争」 イラク大使館に質問, 過去の戦争の分析
- 2班 「戦争・東京大空襲」 東京大空襲展見学, 空襲体験者のお話を伺う
- 3班 「人の心と宗教・宗教と戦争」 ジャーナリスト横田勇人氏のお話を伺う
- 4班 「子どもの人権・ゲームと犯罪」 ゲームソフト会社に質問, 社会の分析
- 5班 「子どもと食糧」 募金活動, ポスター作成, WFPの方にお話を伺う

6/28 (火) 6限 福祉グループの取り組みと概略

(資料プリント参照)

～3学年総合学習 “SOCIETY” 今私たちにできること～

デーマ	活動
1 班	盲導犬・福祉施設見学
2 班	バリアフリーさがし
3 班	車椅子バススケッチボールボランティア
4 班	ススポーツ交流
5 班	We Love Sports! 日本の年々問題 厚生労働省にたずねる

1班女子→4班→3班→1班男子→5班女子→2班→5班男子

1班 女 田五之

まづかい。女子バスケは男子より少ない。アメリカはこのように入ホーリ
ン選手バスケの選手は多い。男子は多い。女子は少ない。男子は多い。女子は少ない。

乙亥年

[illegible]

今日の発表で福祉グループとして伝えたいこと

盲導犬について → 積極的に協力してほしい 仕事をしているので (しごと) しない
福祉施設について → (せふのいふ) ・利用のされ方をまずは知ってほしい
車椅子バスケットボールについて → 障害者スポーツでなく (ふつぽう) である
スポーツを通してだれでも (すべ) である

→問題が多い。私たちが変えていく必要

を広く皆さんに訴えたいと考えます。

	question	answer
1 班	現在おぬしはどなたさん。	948 東京都式部省書記官
2 班	車イスバスケットボールのルールってど何かい？	首から下かまひ
3 班	ホラー映画どい何かい？	自分ではいるのを 自害
4 班	ぶりがいいしヤスオロソで 問題をなめろ	
5 班	ヤスオロソい何かい？	ヤスオロソい何かい？ 大抵か。

感想	1班 → 指導者についてよく分かりました。 ② アドレステスについてよく分かった。 4班 → アドレステスホールの歴史についてよく分かった。 3班 → 軍事などを使っている分かった。 1班 → 軍事などを見せながら説明している。 2班 → セーブと言わなければならぬ。
自分の課題（できること）	

色々なことに気がついたわ。(7)

3年2組()

総合学習 ～ Society 私たちにできること～をふりかえって

2005.7.5

(3年 M組 番氏名)

※3年生の総合学習の個人評価の対象となります。3年での活動を中心に記入して下さい。
春休みの活動は3年にいれてください。

環境・健康・福祉・平和グループ (○をつけてください) () 班	同じ班のメンバー
テーマ	

1 自己評価

- ①興味・関心をもつてテーマを追及することができたか (○をつける)
- | | | | |
|-------|-------|-----------|--------|
| よくできた | ややできた | あまりできなかった | できなかった |
|-------|-------|-----------|--------|
- ②グループの人と協力し、意見を交換して、学習をすすめることができたか。
- | | | | |
|-------|-------|-----------|--------|
| よくできた | ややできた | あまりできなかった | できなかった |
|-------|-------|-----------|--------|
- ③実際に社会に働きかける活動を積極的に行うことができたか。
- | | | | |
|-------|-------|-----------|--------|
| よくできた | ややできた | あまりできなかった | できなかった |
|-------|-------|-----------|--------|
- ④まとめや発表を工夫して行うことができたか。
- | | | | |
|-------|-------|-----------|--------|
| よくできた | ややできた | あまりできなかった | できなかった |
|-------|-------|-----------|--------|
- ⑤発表をしっかりと書くことができたか。
- | | | | |
|-------|-------|-----------|--------|
| よくできた | ややできた | あまりできなかった | できなかった |
|-------|-------|-----------|--------|
- ⑥自分の調べたことや他の人の発表をもとに、考えを深めることができたか。
- | | | | |
|-------|-------|-----------|--------|
| よくできた | ややできた | あまりできなかった | できなかった |
|-------|-------|-----------|--------|

2 自分がやったことの記録

- ①本・インターネットなどでの調査
具体的に (どのような資料を使ったかも記入する)
インターネットで" WFPについて"を調べた。(電話番号、住所、どのようなものなのか?)
WFPの人からお話を聞いた。
- ②校外などでの活動 (募金・インタビューなど)
具体的に
茗荷谷駅で募金をした。10000以上集めた!
- ③まとめ・発表 (何にどのようにまとめたか 何を使って発表したかなど)
具体的に
コンピュータでまとめた(写真、ハフガーマップなどを使った)
発表するときにWFPからもらったパンフレットをみんなにくばった。
- ④その他 (〇〇団体に電話をしてインタビューの予約をした など)
具体的に
WFPの電話番号を調べ、電話しインタビューの予約をした。
話を聞く。

3 学習をふりかえって、「私たちにできること」は何だと考えましたか。

募金をする。
みんなに世界にはごはんの食べれない子供達がいることを伝える。 } 3つの大事なこと。

4 相互評価 自分達で理解する。
同じグループでがんばっていた人 その理由
名前 理由

自分から進んで WFPに電話したり、進んで色調べてくれたりした。

※総合の成果をグループでまとめたものを、HPなどで発信する予定です。資料などをなくさないようにしておいてください。

(3) まとめと評価

今回の活動をふりかえると、どのグループも何らかの形で社会に関わることができた点はよかったが、残念ながらグループ内での個人差が大きかった。そこで、最後にもう一度、インターネットで発信できるような形で小グループの活動を整理・記録する、自分の活動をふりかえる自己評価用紙に記入する活動を行った。

2 「“Society” 今私たちにできること」からの学びを活かして（3年後半）

(1) 総合学習を活かして（卒業に向けて）

1・2年で基礎基本的な、また応用的な‘総合学習的学び’を行い、3年の後半からはそれを発展させて活動を行った。受験期と並行して進める上で無理のない範囲と考えると、3月のプログラム企画運営に照準をあて、進めていった。

(2) 総合学習係と共に

2年間の経験を踏まえ総合学習係は、数回のアンケートを通して学年生徒全員の意識を高めたり意見を集約していった。そして準備を進め学年集会を開いた。

以下、3学年後半総合学習スタート時のプリント資料を示す。

3学年総合学習 卒業に向けて 11/11学年集会資料資料 アリーナにて
“Society” 今 私たちにできること

・ 今回の目標の確認

：総合学習も含めて、中学校生活これまで身につけてきた力を活かして、中学3年間できっちりまとめ、よい思い出を作り、感謝の気持ちを表して未来に旅立とう。

・ 柱立ての確認

- ：Ⅰ Society（人・社会）の為になる「学校に残そうプロジェクト」
- Ⅱ Society（人・社会）の為になる「自分たちの心に残そうプロジェクト」

・ 柱の下に合計約16の小グループによるプロジェクト

救急（心肺蘇生等講習会）、歓送会、文集、修繕（2グループ以上）、
アルバム、裁判所（見学等）、クリーン活動（2グループ以上）、
総合学習まとめ等、2年の活動を引き続き・・・

・ プロジェクト案の募集

- ① これからの社会を考え、社会に役立つ内容で、今できること
- ② 過去に挙がった例で却下となった内容は再提案しない

全体とりまとめ 生徒:植竹、教員:木村・栗原

3年生総合的な学習の時間 I 学校に残そうプロジェクト・II 自分たちの心に残そうプロジェクト

目標 これまで、身につけてきた力を活かして、中学3年間をきっちりまとめ、良い思い出を作り、感謝の気持ちを表して、未来に旅立と

柱	通し	プロジェクト名	内容案(グループで相談し、総合学習係に確認をとりながら HP作成など)	注意 点	メンバー	人数	活動場所	とりまとめ	相談役
I	1	総合学習発信プロジェクト		発信内容チェックしよう		7	3R		
II	2	総合学習引き継ぎプロジェクト	日本の郷土料理	1・2年の総合内容を意識しよう		6	3M		
II	3	歓送会プロジェクト	合唱など、歓送会でお礼の出し物をするのでそれを企画練習させるなど	運営委員会と連絡を取ること。時間の枠や、要望を聞く。全体練習計画も立てよう。		7	3K		
II	4	DVDプロジェクト	応援合戦、合唱などの映像を厳選して集めるとか、生徒祭オープニングを集めるなど、または、ひとり一言集など	時間のかかる編集など大がかりなことではできません。いくつかのグループに分けて活動した方がよいかも。		10	3R		
II	5	遠足プロジェクト(3/13に向	何処に行くのかを決める。時間の計画や、そこで何をするか、当日は、学年全員を把握し、出欠を取ったり用具などの用意をする。雨でもできる案。	個人や小グループで楽しむ企画でなく、学年で行く価値のあるところ。日帰り。制限事項についてはあらかじめ学校に確認する		9	3K		
I	6	学校クリーンプロジェクト1	学校の環境を整える(教室)	何か必要かを取材して計画をしっかりと作ろう		6	3R		
I	7	学校クリーンプロジェクト2	学校の環境を整える(緑化、植樹・植花)	何が必要かを取材して計画をしっかりと作ろう		10	3R		
I	8	進路プロジェクト	問題集めや、面接のコツ、受験の心得などを書いたノートやプリントを工夫するなど。実際の面接内容を記入して貰いまとめる。後輩に残す	どのような資料がどのような形で残れば役に立ちそうか、考えよう。		8	3U		
I	9	救急プロジェクト	救急法講習会企画立案	消防署との連絡などしっかりと行おう		10	3U		
	10	スポーツ健康プロジェクト	球技大会の企画立案	雨天バージョンも用意しよう		10	3M		
II	11	食健康プロジェクト	健康をスポーツと食から捉え、球技大会や大鍋料理(豚汁150人分)を企画運営	材料調達をしっかりと行おう		9	3K		
I	12	修繕プロジェクト1	壁の穴ふさぎとか、掲示板張り替えとか、修理専門。これも3年全体に分担して良い。	学校クリーンと連携して仕事を上げてみよう。		10	3U		
I	13	修繕プロジェクト2	貴重品袋を作ったり、感謝の気持ちを表したりする。	安全に美しく作成しよう。		9	3K		
II	14	修繕プロジェクト3	壁の穴ふさぎとか、掲示板張り替えとか、修理専門。これも3年全体に分担して良い。	学校クリーンと連携して仕事を上げてみよう。		10	3U		
I	15	裁判所見学プロジェクト	1 弁護士の方にお話を聞く会の企画運営、裁判傍聴のための情報提供(しおり作成など)	弁護士の方や東京地方裁判所とは日時について連絡はとっています。外の方や学校の外に出るので必要な注意事項を考えて下さい。		14	3M		
II	16								

3年生総合的な学習の時間:総集編プロジェクトの経過

2月24日

目標 これまで、身につけてきた力を活かして、中学3年間できっちりまとめ、
思い出を作り、感謝の気持ちを表して、未来に旅立とう

1月13日	5限	調査、インタビュー、計画など	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">卒業式は3/16(木)</div>
	6限		
1月20日	5限	これからの活動の見通しや、具体的な行動	
	6限	学年集会で、目標や経過を報告	
1月27日	5限	具体的に活動	
	6限		
2月14日	5限		
	6限		
2月21日	5限		
	6限	集会に向けて	
2月24日	5限	学年集会で、目標や経過を報告	
	6限	井ノ口さんのお話を聞く会	
3月	特別時程	無所属見学クラス単位 卒業遠足	クリーン活動、総合まとめ 救急法実習、放送、健康イベント 撮影会説明 通知原アルバム文集 式など

プロジェクト名

歓送会 プロジェクト

メンバー 長に◎、副長に○

プロジェクトのビジョン(夢、願い)は

主役の3年生が下級生の心に残り、「さよう」と言われるようなパフォーマンス

ミッション(なんのために)

歓送会での下級生に対するお礼のために。

ゴール(具体的に何をゴールにするのか)

みんなの笑顔・3年生が一人となり、気持ちよく卒業できるように。

記録:

伴奏、ハモリ隊

指揮	()			
ピアノ	()			
バイオリン	()	()	()	()
チェロ	()			
ギター	()	()		
ドラム	()			
ハモリ隊	M	()	()	()
	R	()	()	()
	K	()	()	()
	U	()	()	()

今後の予定

合宿

毎日①・②練習有。 3/9(木) 3-4 3/10(金) 3-4

VTR 3/3 7クラス2分以内
1→練 4→RU 6→MK

17-18 報告
共通理解

Society(人・社会)の為になる「学校に残そう」プロジェクト

Society(人・社会)の為になる「心に残そう」プロジェクト

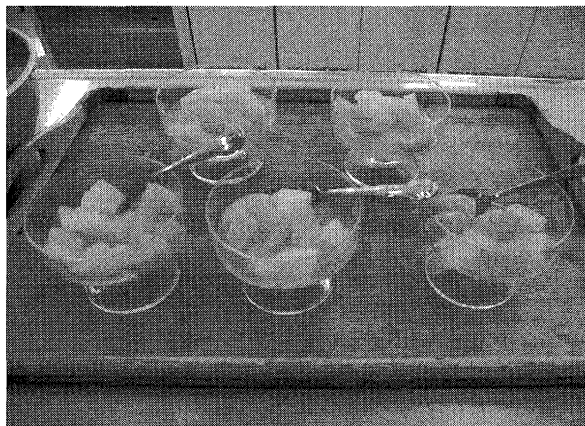
-6限「心に残そう」発表

17-18 2年生との1対1のこ
2年生の発表を聴く

5限に記入↓6限武道場で、やったことやお願いを話す。(この用紙をもとに)↓担当の先生に渡す

(3) 学年全体で共に卒業を迎えよう

別紙資料のように、プロジェクトが決まった。メンバーに関しては話し合いで決まった所もあれば、抽選を行ってメンバーを決めた所もある。総合学習係は常に公平さを求め、きっちり抽選を進めていったり、また配慮を加えながらメンバーを決めていった。抽選に漏れた生徒も他のグループに入り活動し、‘協働’に慣れてきた3年生としての姿が見えた。



健康プロジェクト（食とスポーツ）大鍋大会に向けての試作（ほうとう風・フルーツ白玉）

(4) まとめと評価

3年間の総合学習で生徒は何を学び、何を身につけ、何を課題として持ったか？生徒自身が総合学習に戸惑っていた1年次。基礎基本、応用の段階を経て、係だけでなく学年全体が自分たちから動くことができた、と感じる3年次。生徒たちは総合学習を通して大きく成長したと感じる。しかし不十分な面も多々ある。例えば全員が熱心に取り組めたか？例えば費やした時間を教科に回していたとしたら？本校の行ってきた自主研究との棲み分けは？それらの幾つかは何年か後、卒業生の姿に読みとれるのでは無かろうか。リーダー性を発揮したり、総合学習での出会いが自分の進路決定に繋がっていったり、目立たない生徒の中에서도しっかり他の生徒の活躍を見ていた生徒が今度は自分が！と前に出てみたり……。総合学習に関わり何度か限界を感じる場面があった。しかし教育活動そのもの、生徒の活動そのものは、生徒の先の姿に繋がるものである。結果を楽しみに、総合学習への取り組みを大切に考えたい。

（文責 木村真冬 栗原恵美子）